



日本人の言語処理の研究



ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科／早期英語教育、レトリックコミュニケーション

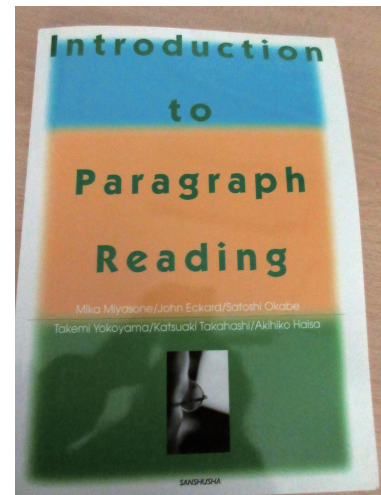
宮曾根 美香 MIYASONE Mika

教授、博士（教育学）

1. 研究内容

小学校の英語活動は音声中心で文字の導入に積極的ではなく、中学に進んで英語が読めず、円滑な英語力の熟達化ができないという問題がある。その問題を踏まえ、導入段階において英語の音韻認識を持たせ、リーディング能力の習得につながる可能性を研究している。

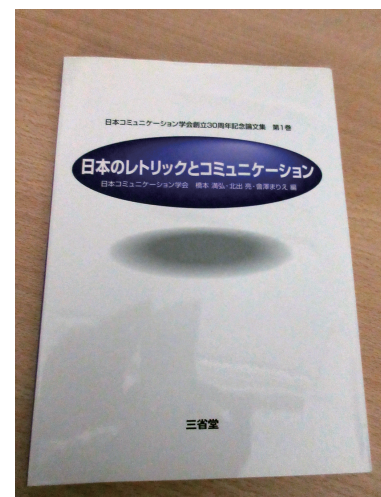
また、日本人の異文化間コミュニケーションおよびビジネスコミュニケーションにおいて、説得性のあるメッセージの作成と発信の方法について研究している。



2. 地域・産学連携の可能性

日本人学習者の円滑な英語力の熟達化を目指す上で、地域の小学校・中学校の教員および英語活動・英語授業のサポートをすることが可能である（名取市、仙台市他での活動実績有り）。

また、ビジネス組織内でのフォーマルコミュニケーションで必要とされるコミュニケーション（ビジネス文書の作成、アサーティブ・コミュニケーション等）の研修を関係各所で実施することが可能である（実績有り）。



執筆論文

日本人初級英語学習者の英語の音韻符号化に関する研究
ー音韻認識と書記素・音素変換規則の関係からー（東北大学教育学研究科博士論文）



英語の音韻認識、音韻符号化、レトリックと説得性